

品名：878086@取説ラウンドシェルフRUS50H
 サイズ：420×H297mm(A3)
 材質：上質70kg
 刷色：1C/1C(Black)

新規：2021.06.25

安全上の注意

安全に使用していただくために下記の事項を必ずお守りください。

室内用収納用品

左記以外の用途には使用しないでください。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

- 火気や暖房器具のそばでは使用しないでください。火災や、やけど、製品の変形のおそれがあります。
- 必ず水平で安定した場所に設置してください。
- お子さまがいたずらしないよう注意してください。
- 乗る、ゆするなどの無理な力をかけないでください。
- 耐荷重以上のものを入れたり、載せたりしないでください。

注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

- この取扱説明書の組み立て手順にしたがって、正しく組み立ててください。
- 移動する際は、載せてあるものをすべておろしてください。
- フローリングの床など傷つきやすい床面での使用は、床の傷、へこみなどの原因となりますので十分注意してください。
- 必ず耐荷重以内で使用してください。
- 一点に集中的に荷重がかからないように、できるだけ均一に置いてください。重いものは、下段に置いてください。
- 腐食やかび・変形・変色の原因となりますので、以下のことに注意してください。
 - ・直射日光の当たる場所や、高温多湿になる場所に長時間置かないでください。
 - ・水分、油、洗剤などが付着した場合は、素早く拭き取ってください。
 - ・ぬれたものや熱いものを置かないでください。
 - ・シール、テープなどを貼らないでください。
- 全体のぐらつきが多い場合は収納量を減らしてください。
- 使用しているうちにねじにゆるみが発生し、ぐらつきことがありますので定期的に締め直してください。

- 天災地変や、不当な修理・改造による事故・破損に対する補償はいたしかねます。
- 製品および梱包材を廃棄される際は、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。
- 接着剤に含まれる有機溶剤やホルムアルデヒドが残っていることがあります。においが気になるときは、換気をよくして使用してください。

お手入れの方法

長くお使いいただくために下記の事項をお守りください。

- お手入れの際に、木天板の表面を強くこすらないでください。表面の化粧プリントが傷む原因になります。
- 汚れが取れにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭いたあと、洗剤分が残らないように固くしぼった布などで水拭きしてください。
- アルコール、ベンジン、漂白剤、みがき粉などは使用しないでください。

仕様

製品サイズ(約)	幅496×奥行325×高さ1089mm
耐荷重(約)	天板：10kg、固定棚板（1枚あたり）：10kg、可動棚板（1枚あたり）：5kg、全体：40kg
主要材質	木製部分：プリント紙化粧パーティクルボード、プリント紙化粧繊維板(MDF) ボックス：ポリプロピレン

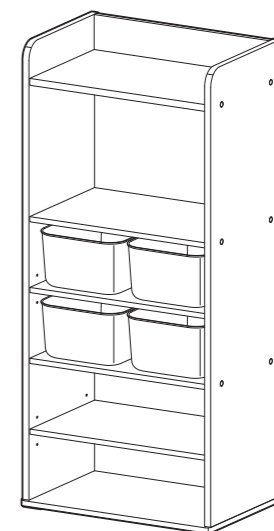
※耐荷重は測定値であり、保証値ではありません。
 ※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
 ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>
 製品に関するお問い合わせは **0120-211-299**
 アイリスコール (通話料無料)
 受付時間 平日9:00～17:00、土・日・祝日9:00～12:00 / 13:00～17:00
 (年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)
 Webからのお問い合わせは <https://www.irisohyama.co.jp/support/>
 メールフォームにご記入のうえ送信してください

878086
250621-QHJ-LIY-01

ラウンドシェルフ RUS-50H

取扱説明書



このたびは、アイリスオーヤマ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
 この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
 また、取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

2人での組み立てをおすすめします。

必要工具

- ⊕ドライバー (サイズ: 2番)

注意

インパクトドライバーは使用しないでください。破損するおそれがあります。

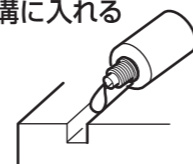
組み立て上の注意

接着部分について

重要 組み立て前に必ずお読みください。必ず以下の方法を守ってください。守らないと、組み立て後の強度が著しく低下します。

ダボ・溝部分の接着 (○の箇所です)

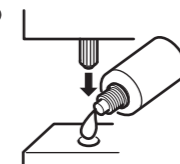
●溝に入れる



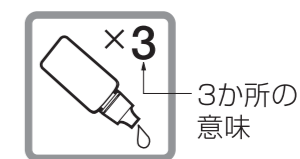
●ダボに塗る



●穴に入れる



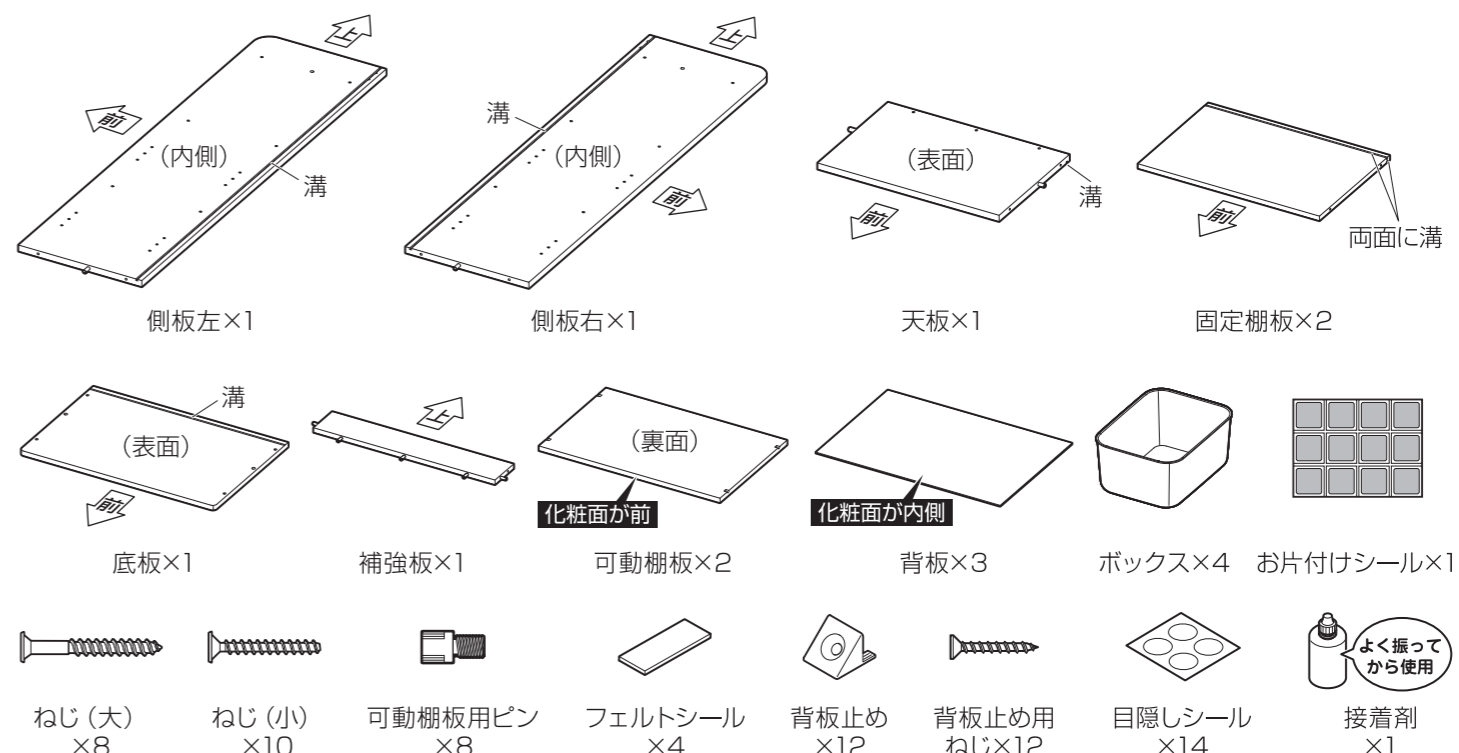
・それぞれの作業が必要な箇所を図で示してあります。
 ・数字は作業箇所数を示しています。



接着はイラストの通りに行ってください。

- ※はみ出た接着剤は水でしめらせた布などでふき取ってください。
- ※接着剤が固まるまでぐらつきが出る場合があります。

パーツリスト



組み立てかた

- 組み立ては平らな場所で、床などに傷つかないように段ボールなどを敷いて行ってください。
- 設置場所の近くで組み立てることをおすすめします。
- 部品は正確に取り付けてください。

1 天板と補強板を取り付ける

補強板
天板
(表面)
溝

表紙参照
ダボ・溝部分の接着

×3

3 背板を取り付ける

背板×3

化粧面が内側

×8

表紙参照
ダボ・溝部分の接着

4 側板右を取り付ける

ねじ(大)×2
ねじ(小)×5

(外側)
溝
側板右

×5

5 底板を取り付ける

×3

(裏面)
溝
底板

ねじ(大)×4

2 1の組立品と固定棚板を側板左に取り付ける

側板左
1の組立品
固定棚板×2

(裏面)
溝
両面に溝
溝
両面に溝

ねじ(大)×2
ねじ(小)×5

6 フェルトシールを取り付ける

フェルトシール×4

7 背板止め(12か所)を取り付ける

背板止め用ねじ×12

背板止め×12

背板止めは、側面板を押さえながら取り付けてください。

10cm
10cm
10cm
10cm
10cm
10cm
10cm
10cm
10cm
10cm

8 可動棚板を取り付ける

可動棚板×2

(表面)
化粧面が前
(表面)
化粧面が前

可動棚板用ピン×8

※可動棚板は任意の位置に取り付けることができます。

9 目隠しシールとボックスを取り付けて完成

目隠しシール×14

中央に可動棚板を取り付けると、4段すべてにBOXが収まる高さになります。

お片付けシール
※お好みで付属のお片付けシールを貼ってください。

ボックス×4

組み立て完了後、確認してください

- ・ねじがしっかり締まっていること。
- ・製品全体にゆがみやねじれ、がたつきがないこと。